

絞扼性腸閉塞の画像診断に関する研究

2006年から2016年までに絞扼性腸閉塞のために治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「絞扼性腸閉塞の画像診断に関する研究」という研究を行います。この研究は、2006年8月1日より2016年12月31日までに日本医科大学付属病院消化器外科にて、絞扼性腸閉塞のために治療を受けられた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：絞扼性腸閉塞の画像診断に関する研究

研究期間：2017年2月15日（倫理委員会承認日）～2019年1月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 消化器外科 山田 岳史

(2) 研究の意義、目的について

絞扼性腸閉塞を診断するにあたり、どのような所見が最も重要であることを明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について

2016年8月1日より2016年12月31日までに日本医科大学付属病院消化器外科にて、治療を受けられた患者さんのCT画像を解析します。検討する所見は腹水、血性腹水、腸管膜血管の異常走行、単純CTにおける腸管壁のCT値の上昇、腸管壁の造影効果低下、ケルクリングひだの不鮮明化、腸管気腫、門脈ガス、腸管膜浮腫、等です。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 消化器外科 准教授 山田 岳史

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：4210

メールアドレス：y-tak@nms.ac.jp